

実行機能力ステップアップ 研修会・基礎編

発達障がいのある子どもの自立に向けてのアイテム10

特別支援教育士(S.E.N.S)資格更新ポイント研修(2P)

臨床心理士資格更新ポイント申請予定(2P)

実行機能は遂行機能とも呼ばれ、「解決したいことに対して満足いく結果を得るために、総動員する様々な能力」と言えます。私たちは子どもだけではなく大人も家事、仕事、勉強、遊びといった生活のほとんどで、この実行機能を活かして過ごしています。例えば、毎日遅刻しないように家を出る、時間内に効率よくテストを終わらせる、休みの日の過ごし方を考えて過ごすなど、すべて実行機能が関わっています。

ところが ASD や ADHD など認知発達に偏りがあるお子さんたちは、知的能力は高いのに実行機能がうまく発揮できず、様々な場面でスムーズにいかないことが多く起こります。

今回の研修ではまず実行機能についての基本的な考え方やその発達、発達障害との関係などについて先行研究をもとにお話します。次に実行機能を、①プランニング（実行可能な計画を立てる）、②優先順位、③時間管理、④空間や情報の管理、⑤SOSを出す、⑥忘れない工夫、⑦モニタリング（行動確認）、⑧シフティング（柔軟性）、⑨開始と持続、⑩コントロール、の10の要素（10のアイテム）に行動を分類してみます。

さらにそれらを身に着けるために実際にどのような支援をしたらいいのか、昨年出版した『実行機能力ステップアップワークシート(かがわ出版)』のワークの一部を実際に参加者の皆さんに体験していただく時間を多くとり、指導事例の紹介も交えながら支援のイメージを持っていただきます。

対象年齢は小学校中高学年から中高生を想定しています。特別支援教育に関わる学校の先生、スクールカウンセラー、医療機関の方や相談機関のカウンセラー、福祉事業所の支援者の方など、多くの方のご参加をお待ちしております。

講師：安住ゆう子（特別支援教育士SV）、三島節子、芳賀亮一(特別支援教育士)
藤村愛(臨床心理士)、鈴木弦(特別支援教育士)

プログラム予定：2018年5月27日(日)10:00～16:00 定員100名

9:30～	受付
10:00～ 11:30	①講義 「実行機能について」「実行機能10のアイテムの分類」他
11:30～ 12:30	休憩
12:30～ 15:00	②10のアイテムの演習

15:00～	③事例の紹介
15:45	「事例A：時間管理や優先順位をつけることが苦手な小5男子」 「事例B：理解力は高いが、注意集中や切り替えに課題のある中3男子」
～16:00	質疑応答

※参加対象者は教育・相談・医療・福祉現場などに所属している方となります

参加費：8,000円

場所：神奈川県民ホール 6階大会議室(みなとみらい線日本大通り駅3番出口徒歩約6分)

(<http://www.kanagawa-kenminhall.com/access>)



お申込み：下記のお申込フォームよりお申し込みください。

<https://ws.formzu.net/fgen/S55129436/>

※NPO 法人フトゥーロHP(<http://www.futuro.or.jp/>)からもお申込みは可能です。

関連書籍について：

『～体験しながら育もう～実行機能カステップアップワークシート』

かもがわ出版(<http://www.kamogawa.co.jp/kensaku/syoseki/sa/0928.html>)

「実行機能」を10の能力に分け、ワーク、ゲーム、工作や作業を通して意識し、日常場面での具体的な対策方法を示していきます。

※研修会当日、特別価格での販売を予定しております。

※この書籍をお持ちでない方も今回の研修会へのご参加は可能です。



お問い合わせ：〒226-0025 神奈川県横浜市緑区十日市場町 803-2 第一サンワードビル2階

NPO法人フトゥーロ LD発達相談センターかながわ 芳賀・鈴木

TEL：045-989-3501 FAX：045-989-3502

E-mail:kensyu_moushikomi@futuro.or.jp